

大磯町郷土資料館のレファレンスについて

佐川 和裕*

<はじめに>

本稿は、平成 18 年度中における、大磯町郷土資料館で対応したレファレンスの一覧と、その若干の考察である。

レファレンスについては、当館が開館 10 周年を迎えた折に、館活動の課題と今後の展望を述べた報告のなかで若干触れたことがある（佐川 1999）。これは平成 9 年度（平成 9 年 4 月 1 日～平成 10 年 3 月 31 日）の 1 年間に対応したレファレンスをまとめたものであるが、当時在籍していた 3 名の学芸員（考古・民俗・自然分野）のうち、民俗分野を担当している筆者のみが受けたレファレンスの集計であり、1 ヶ月に平均 7 件、総計で 87 件のレファレンスに対処したことを報告した。しかし、対象としたレファレンスはすべてを網羅していたわけではない。すなわち、口頭で対応できるような軽易な内容ではなく、資料の閲覧や提供などの作業を伴ったものを対象としたため、必ずしもレファレンスの全貌を集計した内容には至らなかった。このときの報告では、日常業務のなかで、レファレンスの対応が大きな割合を占めることを常日頃から実感していたため、その実情を確認する狙いがあったのだが、あくまでも負担の度合いを問題にするというのではなく、どうすれば利用者にとって有意義でスムーズな対応ができるのかといった建設的な論議の必要性を考える叩き台にするつもりであった。ところが、その後、レファレンスにおける課題解消は遅々として進んでいない。平成 17 年度に、文化財業務を資料館から分離することにもない、考古担当学芸員が生涯学習課へ異動したため、資料館では結果的に 2 名の学芸員によるレファレンス対応となったことも影響している。

そこで、今一度レファレンスについて状況を把握すべく学芸員 2 名が受けたすべてのレファレンスの集計を試みた。本稿の基本的な目的は、まず、館全体の年間レファレンス数、内容、対処方法を再確認することである。そして、集計から全体的な傾向を確認し、あらためて課題を見極めておこうというものである。

<レファレンス票について>

レファレンスの対応にあたっては、レファレンス票を作成した。これは平成 9 年度に実施した調査票を踏襲したものである（表 1）。窓口、電話、ファクシミリ、電子メールなどで寄せられたレファレンスを、内容によって人文系と自然系に大別し、それぞれの担当者に振り分けて対応する。そして、対応した担当者がその都度レファレンス票に記録していった。記録内容は、受付日、受付方法、受付者、連絡先（依頼者）、レファレンスの内容、

受付日	平成 年 月 日 (火)	受付方法	受付者
内容			
連絡先	(氏名)	(住所)	TEL/FAX
処理	口頭で回答	資料送付(郵送・FAX)	調査継続 その他

(表 1) レファレンス票

対処方法、対処内容などで、できるだけ具体的に詳しく記録していくことを申し合わせた。具体的な経緯と内容が記述されることで、今後のレファレンスの回答の雛形として利用できるのではないかと考えたためである。つまり、回答の雛形さえあれば、担当者が不在であっても、ある程度すみやかに対処ができるのではないかと、あるいは、今後対応すべき分野の学芸員が万が一異動した場合でも可能な範囲で対処ができるのではないかとのも考えた。以前に課題としてあげていた「利用者にとって有意義でスムーズな対応」を実践するべく考えたわけである。ところが、実際にレファレンス票をつけ始めてまもなく当初の思惑通りにはいかなかった。詳細に記録することに時間を割いてしまうと、レファレンス以外の業務に少なからず影響を与えてしまうことになり、結果的には必要最小限のメモとなってしまったのである。いずれにしても、レファレンス票を記録すること自体に予想以上の仕事量を奪われながらも、とにかく年間を通して基本的な事項を書き込んだ票は作成することができた。

<レファレンスの傾向について>

レファレンスの内容が多様であることは言うまでもないが、ここでは基本的に学芸分野におけるレファレンスを対象としており、施設の管理や運営維持に直接かかわるような事務分野は除いている。そのうえで、窓口、電話、ファクシミリ、電子メールなどにより、口頭にて回答可能なものも含め、すべてのレファレンスを対象とした。その結果、学芸員 2 名が 1 年間に対応したレファレンスは総計 450 件に及んだ。当該件数が多いのか少ないのかは、他博物館での傾向を知る資料が手元にないため即断できないが、少なくとも学芸員 2 名がレファレンスに費やす時間からすれば、かなりの仕事量といえる。場合によっては、レファレンスの対応に数日間の調査等をかけざるを得ないことも少なくないため、なおさらその印象が強いのかも知れない。また、1 件のレファレンスにおいて、複数のテーマが含まれていることを

(* 当館学芸員)

考慮すると、テーマ総件数は 551 件にのぼる。レファレンスのテーマを、当館の条例上における取り扱い分野である考古、歴史、民俗、自然を基本として分類することは簡単ではないが、敢えて分けるとすれば、人文系（考古・歴史・民俗・地理・文学・美術）392 件、自然系 39 件、展示 24 件、その他 96 件となる（表 2）。

さらに内訳をみてみると、まず、人文系のうち考古分野では、町内にある横穴墓の所在や内容が 7 件と、当館に所蔵している考古資料についての問合せが 4 件であった。考古担当学芸員が異動によって不在のため、専門的なレファレンスについては異動先に照会せざるをえないが、館においても可能な範囲で対応している。なお、継続的なレファレンス数の調査は実施していないため、あくまでも「印象」の域を出ないが、考古担当学芸員が異動して以降、考古分野のレファレンスはかなり減少したように感じている。

歴史分野は 1 年を通じて最も件数が多い。しかし、開館当初から歴史分野の担当学芸員はおらず、そのほとんどは民俗担当において対応してきた。平成 18 年度の内訳は、古代 1 件、中世 4 件、近世 32 件、近代 96 件、現代 39 件であった。古代は相模国府、中世は旧鎌倉街道や城郭、近世は旧東海道や大磯宿に関する内容であった。近代については、明治時代以降の海水浴場の開設とともに花開いた大磯の別荘文化と、そこにかかわる人物に関わる内容が大半を占めており、レファレンス数も他の時代と比べて飛び抜けた件数を記録している。この集計を見る限りでは、大磯町において最も興味もたれている時代は近代であり、しいては大磯町の外部イメージを認識する手立てとなる。ちなみに、存続問題が話題となっている吉田茂（旧吉田茂邸）や伊藤博文（滄浪閣）についての問い合わせが特に目立った。また、少々変わったところでは、現代にかかわる資料として二宮金次郎像に関する問合せが続いたことがあった。これは、小学校総合学習の「調べ学習」で取り上げたことから、子どもたちのレファレンスへと影響したようである。

民俗分野では、祭礼に関する内容が 100 件、民具や生活道具全般に関する内容が 17 件、道祖神や各種の石仏などの内容が 11 件であった。特に祭礼に関しては、祭礼の開催時期の前後にレファレンスが集中しており、祭礼の開催情報といった簡易なものから、かなり詳しい資料を求める内容まで多様であった。ちなみに、祭礼別では、左義長・セートバライ 27 件、西小磯の七夕行事 21 件、白岩神社祭礼 19 件、御船祭 16 件、高麗寺祭 6 件、国府祭 2 件、その他の祭礼 9 件となっている。国の重要無形民俗文化財に指定されている左義長へのレファレンスは例年のとおりであるが、国の記録選択（記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財）となっている西小磯の七夕行事に対するレファレンスの急増が目立っている。

地理分野では、地名に関する内容 19 件、古写真や古地図をはじめとした景観に関わる内容が 15 件であった。な

	テーマ件数	内 容
考古	11	横穴墓 7、その他 4
歴史	172	古代 1、中世 4、近世 32、近代 96、現代 39
民俗	151	祭礼 100、民具 17、石造物 11、その他 23
地理	34	地名 19、景観 15
文学	10	島崎藤村 4、菊池重三郎 2、その他 4
美術	14	神仏彫刻 8、その他 6
自然	39	アオバト 13、植物 6、貝類 4、ウミガメ 4 その他 12
展示	24	企画展
その他	96	文化財・収蔵資料・施設全般
合計	551	

（表 2）分野別レファレンス内訳

かでも、個人が土地や建物の取得にあたり、あらかじめ地名や過去の景観・地形を調査に来館されるケースが目立つようになった。つまり、歴史的興味のみならず、防災に対して強い関心を持つ人が増えており、そのための情報収集の場として資料館を利用されているのだと解釈できる。また、古写真については、雑誌などのメディアによるレファレンスも多い。

文学分野では、大磯で没した文豪島崎藤村や、藤村をはじめ多くの文人と親交のあった小説家菊池重三郎についての内容が中心であった。菊池は過去に当館において企画展を開催しており、多くの資料を受託していることによる。ただし、全体のレファレンスの総件数からすれば、その割合は比較的少ないといえよう。

美術分野では、神像や仏像に関わる内容が多かった。これは、先に町指定有形文化財となった木造神像群（高来神社蔵）や、「文化財特別公開」として当館で公開した県重要文化財の木造地藏菩薩坐像（慶覚院蔵）をはじめとした同寺の仏像類の内容が目立った。

一方、自然系の分野では、アオバトに関する内容が多かった。平成 18 年は、大磯の照ヶ崎がアオバトの集団飛来地として神奈川県天然記念物に指定されてから 10 年を迎え、当館においても記念展示を行なったことから話題性が増したことや、アオバトの存在が広く周知されてきたことが背景にあるのだろう。また、平成 18 年度の件数は少ないものの、当館の特徴にあげられるのが、ウミガメに関する内容である。相模湾に面している大磯町では、毎年ウミガメのストランディングについて積極的な情報収集に努めており、平成 14 年以降、当館刊行物『資料館だより』において欠かさず報告がなされている（北水 2002～2006）。神奈川県における有力なウミガメ情報の

発信基地としての機能が高まりつつあるといえるだろう。

最後に、展示やその他のレファレンスが120件であった。展示については主に企画展の内容、その他では文化財全般に関する内容や、観光に関わる内容が主なものであった。なお、今回の集計には入れていないが、当館の立地する大磯城山公園や当館への道順を尋ねる電話など、町外からのアプローチも多い。

以上、1年間にわたり記録したレファレンス票を集計した。振り返ると、票を作成することでレファレンス処理に対する管理徹底につながり、対処漏れといった事態を避けることができた。記録することだけでも大きな効果があったことを付け加えておきたい。

<まとめ>

当館は地域博物館としての役割を認識し、さまざまな活動を実践してきた。本稿で取り上げているレファレンスの対応もそのひとつである。早い時期から地域博物館を標榜してきた平塚市博物館では、その役割を「地域博物館というのは、地域資料についての統合的な情報メディアとしての役割を期待されている」とし、さらにそこで働く学芸員を「町医者的な役割を要求されている」と指摘した(小川1986)。今更ながら的を得た表現として実感される。

レファレンスは1件ごとに内容が異なる。同じテーマであっても利用者の興味のあり方はさまざまであり、一人ひとりに対してきめの細かな対応が必要であることは言うまでもない。その点からすれば、利用者が求めている回答に十分応えられていたのか、常に自省しなければならない。しかし、結論だけを回答するのではなく、利用者自らが考え、調べてもらうための手立てや道筋をアドバイスし、時には利用者と一緒に調べていこうという姿勢を心がけている。とはいっても、あくまでも現実問題として2名という人数がのしかかっている。したがって、決して良い方法であるとは思わないが、少ない人数で、且つ、できる限りの対応をしていくためには、やはり今後は回答のマニュアル化も選択肢のひとつとして考えていかなければならないだろう。

もちろん、博物館側が常に受身である必要はない。例えば、神奈川県博物館協会が、その会誌において博物館と学校教育との連携を集成した報告のなかに、「したくもない宿題のお手伝いはやりません。それよりも、自然や自然科学に興味をもった人には、喜んでともに学びます」(田口2002)という一文がある。学芸員ならばおそらく誰でも心に思っていることを明文化した、まことに痛切なキャッチコピーである。利用者の学ぼうとする意欲を大切に育てていくという博物館の役割を、利用者・博物館双方の共通理解を得るために、博物館側からの積極的なアプローチもあってしかるべきであろう。

一方、各博物館においては、既に組織としてもさまざまな模索が試みられている。本稿では指定管理者制度に言及するものではないが、例えば、教育系学芸員や指導

主事などの配置、レファレンスや学習支援を念頭においた学芸ボランティアの導入、インターネット等による情報システムの整備など、それぞれ工夫の跡がうかがえ、一定の成果を得た博物館も少なくないと聞く。しかし、繰り返しになるが、当館においても同様の問題は、既に開館10年を迎えた折に課題として認識していたことは述べたが、財政状況や職員定数の問題、ボランティア養成にかかる時間的人的負担など、極めて現実的な問題に直面し、課題克服が進んでいないのが現状である。もちろん、手は尽くしている。ワークショップの活動を通じた、いわゆる資料調査や資料整理ボランティアによる活動においては一定の成果は得ているが、それが学習支援やレファレンス対応へ直接つながっているわけではない。

当館は、平成20年度に開館20年を迎える。博物館としてはまさに成熟期を迎える時期にきているが、当館にとっては基本的な課題の克服に向けて、まだまだ試行錯誤が続いている状況にある。近年、行政においては情報公開や個人情報というキーワードのもとで慎重さを求められるあまりに臆病な対応に終始してしまったり、行政サービスという旗印のもとに過剰なまでのサービスを行なうことが決して得策とは思わない。しかし、小規模な博物館であるからこそ、細かなことまで手が届くというように、何事もプラス志向に発想し、何よりも便利で地域に役立つ博物館でありたいと思う気持ちはいつまでも持ち続けたい。

最後に、レファレンス票を作成するという筆者の提案に賛同し、ご協力いただいた北水慶一学芸員に感謝申し上げます。

引用・参考文献

- ・小川直之「情報センターとしての地域博物館」『民具マンスリー』第19巻5号 1986 神奈川大学日本常民文化研究所
- ・佐川和裕「資料館の課題と展望—10年をふりかえって—」『Report 大磯町郷土資料館だより』18・19号 1999 大磯町郷土資料館
- ・田口公則「博物館と学校のかかわりを考える—化石ローンキット活動からの展開—」『神奈川県博物館協会会報』第73号 2002 神奈川県博物館協会
- ・北水慶一「大磯町西小磯おける今夏のウミガメ情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』23号 2002 大磯町郷土資料館
- ・北水慶一「2003年ウミガメ情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』24号 2003 大磯町郷土資料館
- ・北水慶一「今夏のウミガメ情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』25号 2004 大磯町郷土資料館
- ・北水慶一「2005年ウミガメ情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』26号 2006 大磯町郷土資料館
- ・北水慶一「2006年のストラディング情報」『Report 大磯町郷土資料館だより』27号 2006 大磯町郷土資料館

平成18年度レファレンス一覧

	受付日	受付方法	依頼者（住所）	レファレンス内容	処理
1	4. 4(火)	電話	個人（小田原市）	①大磯宿について ②大磯町内の史跡について	①②口頭で回答
2	〃	窓口	個人（一）	①「こゆるぎ」について ②旧吉田茂邸について ③城山荘について	①口頭で回答 ②③資料提供
3	〃	窓口	個人（一）	城山荘について	口頭で回答
4	4. 6(木)	窓口	個人（小田原市）	①大磯宿について ②人物の消息について	①②資料提供、他機関への照会
5	4. 7(金)	電話	テレビ局	大磯宿について	口頭で回答
6	4. 9(日)	窓口	個人（横浜市）	①蚕について ②城山公園について	①口頭で回答 ②資料提供
7	4.11(火)	電話	個人（一）	血洗川の地名について	口頭で回答
8	〃	電話	当町観光協会	①旧東海道について ②一里塚の位置について ③テレビ局の取材について	①②③口頭で回答
9	〃	窓口	新聞社	①吉田茂の資料について ②資料の記事掲載について	①②口頭で回答
10	4.12(水)	電話	当町生涯学習課	高麗寺祭について	調査継続（後日資料提供）
11	〃	電話	大学博物館	奉安殿の消息について	口頭で回答
12	〃	電話	町内保育園	ヒキガエルの産卵について	口頭で回答
13	4.13(木)	電話	個人（大磯町）	①資料館の収蔵庫について ②展示企画について ③高麗寺祭について	①②口頭で回答 ③調査継続（後日回答）
14	4.14(金)	窓口	個人（一）	城山荘について	口頭で回答
15	〃	電話	ボランティア団体	照ヶ崎の貝類について	調査継続（後日回答）
16	〃	窓口	個人（一）	サルンボ(オサルサン)について	資料提供
17	〃	窓口	個人（湯河原町）	①資料館の運営について ②共催展について ③旧吉田茂邸について	①②③口頭で回答
18	4.15(土)	電話	個人（一）	資料館の配布資料について	口頭で回答
19	〃	窓口	個人（一）	①四季耕作図について ②大磯町内の植生について	①口頭で回答 ②資料提供
20	〃	窓口	個人（小田原市）	「こゆるぎ」について	口頭で回答
21	〃	窓口	個人（大磯町）	シオヤガイと貝塚について	口頭で回答
22	4.18(火)	電話	個人（横浜市）	楊谷寺横穴古墳群について	調査継続（後日回答）
23	4.19(水)	電話	美術館	安田靱彦の作品について	調査継続（後日回答）
24	4.20(木)	窓口	個人（茅ヶ崎市）	①酒器について ②考古資料について	①口頭で回答 ②調査継続（後日回答）
25	4.21(金)	電話	美術館	安田靱彦の作品について	調査継続（後日回答）
26	4.22(土)	窓口	個人（逗子市）	①サルンボ(オサルサン)について ②旧吉田茂邸について	①②口頭で回答
27	〃	電話	個人（茅ヶ崎市）	①フナドクリについて ②考古資料について	①②資料提供（後日回答）
28	〃	窓口	個人（茅ヶ崎市）	仁王像について	口頭で回答
29	〃	電話	個人（大磯町）	伊藤博文の資料について	口頭で回答
30	〃	電話	映画製作会社	クローバーの開花時期について	口頭で回答
31	〃	窓口	個人（茅ヶ崎市）	神道彫刻と仏教彫刻について	資料提供
32	4.25(火)	電話	個人（八王子市）	民俗学の文献について	調査継続（後日回答）
33	〃	電話	ボランティア団体	①資料館の見学と解説について ②民話について	①②口頭で回答
34	4.26(水)	窓口	ボランティア団体	神社建築について	資料提供
35	4.27(木)	電話	県広報県民課	AM放送の取材について	口頭で回答
36	〃	電話	個人（一）	大磯町域の旧郡名について	口頭で回答
37	〃	窓口	博物館	西小磯七夕行事について	資料提供
38	〃	窓口	個人（大磯町）	照ヶ崎の貝類について	口頭で回答
39	4.28(金)	電話	新聞社	ウミガメの産卵と海岸侵食について	
40	4.29(土)	窓口	個人（一）	別荘の消息について	資料提供
41	5. 2(火)	電話	当町まちづくり課	古地図について	調査継続（後日回答）
42	〃	電話	個人（一）	伊藤博文の資料について	口頭で回答、他機関への照会

43	〃	窓口	個人（大和市）	住宅地形成の基礎資料について	資料提供
44	5. 5(金)	窓口	個人（大磯町）	吉田茂の資料について	調査継続（後日回答）
45	〃	窓口	個人（一）	①常設展示について ②大磯宿について	①②資料提供
46	5. 7(日)	窓口	個人（横須賀市）	①共催展示について ②ソロバンについて	①②口頭で回答
47	〃	電話	当町図書館	写真の所在について	口頭で回答
48	5. 9(火)	電話	個人（一）	地名について	口頭で回答
49	5.10(水)	電話	当町生涯学習課	吉田茂の資料について	口頭で回答
50	5.11(木)	窓口	個人（一）	板碑について	口頭で回答
51	〃	電話	当町経済観光課	町指定天然記念物について	ファミリで資料提供
52	5.12(金)	窓口	個人（一）	松本順について	資料提供
53	〃	窓口	個人（大磯町）	ボディボードについて	口頭で回答
54	〃	窓口	個人（一）	共催展示について	口頭で回答
55	5.14(日)	電話	個人（二宮町）	横穴墓について	調査継続（後日資料提供）
56	5.16(火)	電話	個人（鎌倉市）	高麗山の樹林について	口頭で回答
57	〃	電話	博物館友の会	収蔵資料について	口頭で回答
58	〃	電話	個人（大磯町）	所蔵資料の評価について	現地へ出向
59	〃	電話	個人（大磯町）	①吉田茂の資料について ②小島本陣資料について	①②口頭で回答
60	5.17(水)	電話	個人（一）	雛人形について	口頭で回答
61	〃	電話	個人（一）	アオバトについて	口頭で回答
62	5.18(木)	電話	AM放送局	番組取材について	話者紹介
63	〃	窓口	個人（二宮町）	別荘について	資料提供
64	〃	窓口	ビジターセンター	①戦争遺跡の所在について ②人工池の所在について	①②資料提供
65	〃	電話	当町都市整備課	吉田茂の資料について	口頭で回答
66	〃	窓口	当町都市整備課	吉田茂の資料について	資料提供
67	5.19(金)	電話	個人（一）	①吉田茂の資料について ②旧吉田茂邸の公開について	①②口頭で回答
68	5.20(土)	電話	個人（大磯町）	平塚市出土の土偶について	他機関への照会
69	5.23(火)	電話	個人（一）	アオバトについて	口頭で回答
70	5.24(水)	窓口	個人（大磯町）	戦争遺跡について	口頭で回答
71	〃	窓口	当町教育委員会	所蔵美術資料について	資料の特別利用（撮影）対応
72	〃	電話	個人（一）	アオバトの観察会について	口頭で回答
73	5.25(木)	窓口	ボランティア団体	御船祭について	資料提供
74	〃	電話	当町教育委員会	横穴墓について	ファミリで資料提供
75	5.27(土)	電話	個人（一）	吉田茂の資料について	口頭で回答
76	6. 1(木)	電話	博物館	西小磯七夕行事について	資料提供、資料の特別利用対応
77	6. 2(金)	電話	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	口頭で回答
78	6. 4(日)	電話	個人（一）	館の展示と施設利用について	口頭で回答
79	〃	eメール	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	eメールにて資料提供
80	6. 6(火)	電話	個人（一）	①高麗産出の石について ②旧岩崎邸について	①②口頭で回答
81	6. 9(金)	電話	個人（厚木市）	①アオバトについて ②館の展示について	①②口頭で回答
82	〃	窓口	個人（一）	アオバトについて	口頭で回答
83	6.13(火)	ファミリ	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	ファミリにて回答
84	6.14(水)	電話	雑誌編集社	月遅れと旧暦について	口頭で回答
85	〃	窓口	博物館	西小磯七夕資料について	資料の特別利用（撮影）対応
86	6.16(金)	電話	個人（一）	①さざれ石について ②地名とバス停の名前について	①②口頭で回答
87	〃	電話	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	ファミリで資料提供
88	〃	電話	県公園協会	鎌倉古道について	口頭で回答
89	6.20(火)	電話	雑誌編集社	町内の写真について	口頭で回答
90	〃	電話	雑誌編集社	御船祭について	口頭で回答
91	〃	電話	雑誌編集社	町内の写真について	口頭の回答
92	〃	電話	他町教育委員会	展示と入館料について	口頭の回答
93	6.21(水)	窓口	他市教育委員会	館の施設について	資料提供
94	〃	電話	テレビ局	アオバトの撮影について	口頭で回答
95	6.22(木)	電話	雑誌編集社	御船祭について	口頭で回答
96	6.25(日)	電話	個人（大磯町）	他博物館の情報について	口頭で回答

97	〃	電話	個人（大磯町）	鎌倉囃子について	口頭で回答
98	〃	電話	設計会社	ボーリングデータについて	調査継続（後日回答）
99	〃	窓口	県公園協会	城山荘の写真について	口頭で回答
100	7. 4(火)	電話	個人（横浜市）	①小磯城と城山について ②横穴墓群について ③御船祭について	①②③口頭で回答
101	〃	窓口	設計会社	高来神社について	資料提供
102	〃	電話	雑誌編集社	企画展示について	ファクシミリにて資料提供
103	7. 5(水)	電話	AM放送局	大磯全般について	口頭で回答
104	〃	電話	大学教員	①城山荘について ②資料の見学について	①②調査継続（後日回答）
105	〃	窓口	博物館	西小磯七夕行事について	口頭で回答
106	〃	電話	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	口頭で回答
107	〃	電話	テレビ局	アオバトの撮影について	口頭で回答
108	〃	窓口	県公園協会	城山荘の写真について	口頭で回答
109	7. 6(木)	電話	個人（大磯町）	七夕行事について	口頭で回答
110	〃	電話	個人（大磯町）	屋根の茅について	調査継続（後日回答）
111	〃	窓口	個人（大磯町）	①安田善次郎邸について ②石造物について ③郷土誌について	①②③調査継続
112	〃	電話	個人（大磯町）	御船祭について	口頭で回答
113	7. 7(金)	電話	新聞社	御船祭について	口頭で回答
114	〃	電話	個人（ ー ）	地鎮祭と神社について	口頭で回答
115	〃	電話	当町財政課	文化財について	口頭で回答
116	〃	電話	個人（ ー ）	①史跡・文化財の所在について ②合併について	①②口頭で回答
117	7. 8(土)	電話	個人（ ー ）	御船祭について	口頭で回答
118	〃	電話	個人（横浜市）	御船祭について	口頭で回答
119	7. 11(火)	電話	個人（ ー ）	文化財報告書について	口頭で回答
120	〃	電話	祭礼保存団体	資料の所在について	現地出向、調査継続（後日回答）
121	〃	電話	個人（大磯町）	国府祭と神揃山について	調査継続（後日郵送で資料提供）
122	〃	電話	テレビ局	アオバトの撮影について	口頭で回答
123	〃	窓口	個人（茅ヶ崎市）	薬草について	口頭で回答
124	7. 12(水)	電話	個人（ ー ）	写真等の著作権について	口頭で回答
125	〃	電話	大学教員	①西小磯七夕行事について ②御船祭について	①②口頭で回答
126	7. 13(木)	窓口	個人（平塚市）	西小磯七夕行事について	口頭で回答
127	〃	電話	新聞社	御船祭について	口頭で回答
128	7. 16(日)	電話	個人（ ー ）	御船祭の山車について	口頭で回答
129	〃	電話	個人（ ー ）	御船祭について	口頭で回答
130	〃	電話	個人（ ー ）	御船祭について	口頭で回答
131	〃	電話	個人（ ー ）	御船祭の山車の飾りについて	口頭で回答
132	7. 19(水)	窓口	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	資料の館外貸出対応
133	〃	ファクシミリ	電話会社	左義長について	ファクシミリで回答
134	〃	電話	個人（茅ヶ崎市）	西小磯七夕行事について	口頭で回答
135	〃	電話	テレビ局	海の家について	口頭で回答
136	〃	電話	大学教員	資料の見学について	口頭で回答
137	7. 20(木)	ファクシミリ	雑誌編集社	西小磯七夕行事について	ファクシミリで回答
138	〃	電話	大学教員	西小磯七夕行事について	口頭で回答
139	〃	電話	他町教育委員会	資料の燻蒸について	口頭で回答
140	〃	電話	個人（横浜市）	西小磯七夕行事について	口頭で回答
141	7. 21(金)	電話	博物館	西小磯七夕行事について	口頭で回答
142	〃	電話	雑誌編集社	海水浴場の写真について	口頭で回答
143	7. 23(日)	窓口	個人（ ー ）	研究紀要について	口頭で回答
144	〃	電話	個人（ ー ）	別荘について	口頭で回答
145	7. 25(火)	電話	他町教育委員会	埋蔵文化財について	口頭で回答
146	7. 28(金)	電話	個人（横浜市）	道祖神について	調査継続（ファクシミリで資料提供）
147	7. 29(土)	電話	中学校教員	高麗について	調査継続（後日回答）
148	〃	電話	個人（藤沢市）	企画展示について	口頭で回答
149	〃	電話	個人（箱根町）	天然記念物について	口頭で回答
150	7. 30(日)	電話	個人（都留市）	アオバトについて	郵送で資料提供
151	8. 1(火)	電話	博物館	西小磯七夕行事について	口頭で回答

152	〃	電話	個人（小田原市）	民俗調査について	調査継続（後日回答）
153	8. 2(水)	電話	他町教育委員会	①施設と備品について ②資料と収蔵庫について	①②口頭で回答
154	〃	電話	個人（一）	西小磯七夕行事について	口頭で回答
155	〃	電話	県OB会	①企画展示について ②見学について	①②口頭で回答
156	8. 3(木)	電話	NPO法人	西小磯七夕行事について	調査継続（後日回答）
157	〃	窓口	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	口頭で回答
158	8. 4(金)	電話	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	調査継続（後日回答）
159	8. 6(土)	eメール	個人（小田原市）	民俗調査について	eメールで回答、話者紹介
160	8. 9(水)	窓口	個人（大磯町）	アオバトについて	資料提供
161	〃	電話	個人（大磯町）	さざれ石について	口頭で回答
162	〃	電話	個人（大阪府）	アオバトについて	ファクシミリで資料提供
163	8.10(木)	電話	雑誌編集社	地名について	口頭で回答
164	8.11(金)	電話	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	口頭で回答
165	〃	電話	雑誌編集社	①湘南について ②鳴立庵について	①②口頭で回答
166	〃	窓口	個人（大磯町）	ハクビシンについて	資料提供
167	8.15(火)	電話	個人（横浜市）	道祖神について	ファクシミリで資料提供
168	〃	窓口	個人（大磯町）	馬場公園の生物について	資料提供
169	8.16(水)	窓口	個人（大磯町）	①禰龍館について ②海水浴場について	①②口頭で回答
170	〃	電話	個人（小田原市）	民俗調査について	話者紹介
171	8.17(木)	電話	個人（秦野市）	資料の保存について	口頭で回答
172	8.18(金)	窓口	中学校教員	高麗について	資料提供
173	〃	窓口	個人（大磯町）	①ウミガメについて ②海について	①②資料提供
174	〃	窓口	当町まちづくり課	①指定文化財・史跡について ②祭礼について ③道祖神等について	①②③資料提供
175	〃	窓口	個人（大磯町）	ウミガメについて	ファクシミリで資料提供
176	〃	電話	個人（大阪府）	照ヶ崎とアオバトについて	口頭で回答
177	8.19(土)	窓口	個人（一）	カブトムシの集まる樹木について	口頭で回答
178	〃	窓口	個人（一）	ピロードテンツキについて	口頭で回答
179	〃	電話	美術館	アオバトについて	口頭で回答
180	〃	電話	個人（一）	ウミガメの産卵状況について	口頭で回答
181	8.22(火)	窓口	小学校教員	坂田山心中について	資料提供
182	〃	窓口	個人（大磯町）	二宮金次郎について	資料提供
183	8.24(木)	電話	個人（一）	旧高麗寺について	調査継続（後日回答）
184	8.25(金)	電話	個人（大磯町）	地名について	口頭で回答
185	〃	窓口	個人（大磯町）	地名について	資料提供
186	〃	電話	個人（大磯町）	資料の価値判断について	口頭で回答
187	〃	窓口	個人（大磯町）	地名について	資料提供
188	〃	窓口	県公園協会	城山荘について	調査継続（後日回答）
189	8.27(日)	窓口	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	口頭で回答
190	〃	電話	個人（大磯町）	二宮金次郎の銅像について	口頭で回答
191	8.29(火)	電話	個人（一）	松本順謝恩碑について	口頭で回答
192	8.30(水)	電話	当町美化センター	ブルーギルについて	口頭で回答
193	〃	電話	当町図書館	写真資料について	口頭で回答
194	〃	電話	個人（平塚市）	近世資料の所在について	調査継続（後日回答）
195	〃	窓口	県公園協会	園内説明の原稿について	調査継続（後日回答）
196	〃	電話	当町観光協会	文化人の居住地について	調査継続（後日回答）
197	〃	電話	当町財政課	絵画資料の寄付について	口頭で回答
198	9. 1(金)	電話	当町図書館	歴史資料の移管について	口頭で回答
199	9. 2(土)	窓口	個人（大磯町）	国府地区の祭りについて	口頭で回答
200	〃	窓口	中学校教員	ハクビシンについて	口頭で回答
201	9. 5(火)	電話	当町観光協会	観光パンフレットの記述内容について	口頭で回答
202	9. 6(水)	電話	文化財修復会社	まわり地蔵について	口頭で回答
203	〃	電話	ボランティア団体	城山荘について	口頭で回答
204	〃	電話	雑誌編集社	松並木の写真について	調査継続（後日回答）
205	〃	電話	美術館	絵画資料について	調査継続（後日回答）
206	9. 7(木)	電話	町内区長	まわり地蔵について	口頭で回答

207	〃	電話	雑誌編集社	吉田茂の資料について	他機関への照会
208	9. 8(金)	窓口	個人(東松山市)	旧池田成彬邸について	口頭で回答
209	9. 12(火)	電話	当町まちづくり課	調査報告書について	調査継続(後日回答)
210	9. 13(水)	電話	個人(一)	稲の掛け干しについて	口頭で回答
211	〃	電話	県教育委員会	左義長について	口頭で回答
212	9. 15(金)	電話	個人(東松山市)	旧池田成彬邸について	口頭で回答
213	9. 20(水)	窓口	町内区長、副区長	文化財・史跡について	資料提供
214	〃	窓口	大学教員	①城山荘について ②資料見学(公開講座)について	①②調査継続(後日回答)
215	9. 21(木)	窓口	個人(一)	八咫鳥について	口頭で回答
216	9. 22(金)	電話	個人(一)	旧東海道について	口頭で回答
217	9. 24(日)	窓口	個人(一)	昔話について	資料提供
218	9. 28(木)	窓口	大学教員	長者園について	資料提供
219	〃	電話	学術団体	研究会の開催について	口頭で回答
220	9. 30(土)	電話	学術団体	県内学術団体の所在について	口頭で回答
221	10. 3(火)	電話	観光会社	①湘南発祥の地について ②旧吉田茂邸について	
222	10. 6(金)	電話	個人(茅ヶ崎市)	松並木と松林について	口頭で回答
223	10. 7(土)	電話	大学研究室	①谷口吉郎について ②島崎藤村について	①②調査継続(後日回答)
224	10. 11(水)	電話	個人(一)	調査報告書について	口頭で回答
225	〃	窓口	個人(一)	調査報告書について	資料提供
226	10. 13(金)	電話	県都市整備公園課	別荘の定義について	口頭で回答
227	〃	電話	個人(一)	大磯の登場する歌舞伎について	口頭で回答
228	10. 17(火)	電話	映画製作会社	①大磯宿について ②左義長について	①②口頭で回答
229	10. 18(水)	電話	個人(藤沢市)	陶磁器の刻まれた銘について	口頭で回答
230	〃	電話	新聞社	文化財特別公開について	口頭で回答
231	〃	電話	個人(大磯町)	国府庵について	調査継続(後日回答)
232	〃	電話	当町図書館	写真資料について	口頭で回答
233	10. 19(木)	窓口	大学教員	城山荘について	資料提供、調査継続(後日回答)
234	10. 22(日)	窓口	個人(一)	展望台のモニュメントについて	調査継続(後日資料提供)
235	10. 23(月)	電話	個人(一)	寄託資料について	ファクシミリで資料提供
236	〃	電話	設計会社	滄浪閣について	口頭で回答
237	10. 25(水)	電話	大学研究室	収蔵資料について	口頭で回答
238	〃	電話	個人(一)	江戸時代の特産物について	口頭で回答
239	10. 27(金)	電話	個人(一)	①城山庵について ②鎌倉～大磯の見どころについて	①②口頭で回答
240	〃	電話	当町経済観光課	松本順謝恩碑について	口頭で回答
241	10. 31(火)	電話	他町教育委員会	収蔵資料と施設・空調について	口頭で回答
242	〃	電話	当町教育委員会	海水浴場について	ファクシミリで資料提供
243	11. 1(水)	電話	当町経済観光課	石屋について	口頭で回答
244	〃	電話	当町生涯学習課	諏訪神社の大松について	口頭で回答
245	〃	電話	当町教育委員会	佐土原さんの坂について	ファクシミリで資料提供
246	11. 5(日)	窓口	大学研究室	藤村記念堂の資料について	特別利用(撮影)対応
247	11. 7(火)	電話	大学教員	①城山荘について ②公開講座について	①②口頭で回答
248	〃	電話	博物館	吉田茂の資料について	口頭で回答
249	11. 9(木)	電話	町内区長	まわり地蔵について	口頭で回答
250	11. 12(日)	電話	個人(一)	企画展示について	口頭で回答
251	〃	窓口	祭礼保存団体	白岩神社について	調査継続(後日回答)
252	11. 15(水)	電話	大学	学芸員実習について	口頭で回答
253	11. 17(金)	電話	町内区長	まわり地蔵について	現地へ出向
254	〃	電話	博物館	収蔵資料について	口頭で回答
255	11. 24(金)	電話	他市教育委員会	民話について	口頭で回答
256	〃	電話	個人(東京都)	嶋立庵について	口頭で回答
257	〃	窓口	博物館	石神台について	口頭で回答
258	11. 25(土)	電話	個人(大磯町)	上総堀について	調査継続(後日回答)
259	〃	窓口	祭礼保存団体	白岩神社について	口頭で回答
260	〃	電話	町内神社	①天海僧正の山号額について ②松本順の書額について ③俳句の奉納額について	①②③調査継続(後日回答)

261	11. 28(火)	窓口	個人 (一)	①海水浴場について ②石造物について	①②資料提供
262	〃	電話	当町図書館	写真資料について	口頭で回答
263	〃	電話	個人 (平塚市)	資料の所在について	資料の受入対応
264	11. 29(水)	電話	当町経済観光課	文化財の解説について	調査継続 (後日回答)
265	11. 30(木)	電話	個人 (横浜市)	口承文芸について	資料提供
266	〃	電話	大学研究室	ハワイ移民について	調査継続 (後日回答)
267	12. 1(金)	電話	個人 (茨城県)	①御船祭について ②サルンボ(オサルサン)について	①②口頭で回答
268	12. 3(日)	電話	個人 (一)	建築家の足跡について	調査継続 (後日回答)
269	〃	窓口	個人 (大磯町)	上総堀について	調査継続 (後日資料提供)
270	〃	電話	個人 (平塚市)	資料の所在について	現地へ出向
271	12. 5(火)	電話	当町教育委員会	百足屋旅館について	口頭で回答
272	〃	電話	個人 (大磯町)	①伝馬制度について ②白岩神社について	①②口頭で回答
273	〃	電話	当町教育委員会	①百足屋旅館について ②こよろぎ焼について	①②口頭で回答
274	〃	電話	個人 (大磯町)	地域の氏神について	口頭で回答
275	〃	電話	雑誌編集社	左義長について	口頭で回答
276	〃	窓口	個人 (大磯町)	千手観音について	口頭で回答
277	12. 7(木)	電話	警察署	地名について	口頭で回答
278	〃	電話	個人 (羽村市)	海水浴場の資料について	ファクシミリで資料提供
279	〃	電話	当町経済観光課	宿場の施設について	調査継続 (後日回答)
280	〃	eメール	当町経済観光課	石造物について	eメールにて回答
281	12. 8(金)	電話	個人 (静岡市)	①道祖神について ②左義長について	①②郵送で資料提供
282	12. 10(日)	電話	祭礼保存団体	白岩神社の祭礼について	ファクシミリで資料提供
283	〃	電話	博物館	マイワイについて	ファクシミリで資料提供
284	〃	窓口	ボランティア団体	①禰龍館について ②招仙閣について ③旧赤星邸について ④滄浪閣について ⑤山県有朋について	①②③④⑤資料提供
285	12. 13(水)	電話	当町生涯学習課	左義長について	口頭で回答
286	〃	電話	博物館	マイワイについて	口頭で回答
287	〃	電話	ボランティア団体	写真資料の著作権について	口頭で回答
288	〃	電話	博物館	所蔵資料について	口頭で回答
289	〃	電話	当町経済観光課	①鴨立庵の資料について ②見附について ③石造物について	①調査継続 (後日回答) ②③口頭で回答
290	12. 14(木)	電話	個人 (一)	左義長について	口頭で回答
291	〃	電話	当町まちづくり課	①鴨立庵について ②旧島崎藤村邸について	①②調査継続 (後日回答)
292	〃	電話	個人 (大磯町)	旧東海道坂下宿について	他機関への照会
293	〃	電話	個人 (一)	左義長について	口頭で回答
294	12. 15(金)	電話	町内区長	まわり地蔵について	現地へ出向
295	〃	電話	大学教員	城山荘の資料について	口頭で回答
296	12. 16(土)	電話	大学教員	城山荘の資料について	口頭で回答
297	12. 19(火)	電話	大学教員	城山荘の資料について	口頭で回答
298	〃	電話	個人 (大磯町)	愛宕市について	口頭で回答
299	〃	窓口	町内区長	セートバライについて	口頭で回答
300	〃	電話	当町教育委員会	町内居住の文化人について	調査継続 (後日回答)
301	12. 20(水)	電話	個人 (大磯町)	白岩神社の境内祠について	口頭で回答
302	〃	電話	個人 (大磯町)	白岩神社について	口頭で回答
303	12. 21(木)	電話	市史編纂室	左義長について	口頭で回答
304	12. 22(金)	電話	大学教員	公開講座について	口頭で回答
305	〃	電話	当町学校教育課	写真資料について	口頭で回答
306	12. 24(日)	窓口	ボランティア団体	写真資料について	特別利用(撮影)対応
307	〃	電話	個人 (大磯町)	白岩神社の祭礼について	口頭で回答
308	12. 25(火)	eメール	当町生涯学習課	文化財特別公開について	eメールで回答
309	12. 26(水)	電話	町内祭礼保存団体	白岩神社について	口頭で回答
310	1. 4(木)	窓口	ボランティア団体	写真資料について	資料提供

311	〃	電話	個人（一）	旧村井吉兵衛邸について	口頭で回答
312	〃	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
313	1. 5(金)	電話	個人（東京都）	歌碑について	口頭で回答
314	〃	電話	個人（一）	マイワイについて	口頭で回答
315	〃	電話	文学館	菊池重三郎の資料について	調査継続（後日回答）
316	〃	電話	当町生涯学習課	滄浪閣について	調査継続（後日回答）
317	1. 9(火)	電話	県公園協会	城山荘について	資料提供
318	1.10(水)	電話	当町役場受付	地名について	口頭で回答
319	〃	電話	個人（一）	堂後下横穴墓群について	口頭で回答
320	〃	電話	当町生涯学習課	左義長の映像について	口頭で回答
321	〃	窓口	中学校教員	左義長の映像について	口頭で回答
322	〃	電話	当町生涯学習課	左義長について	口頭で回答
323	1.11(木)	電話	当町経済観光課	松本順について	調査継続（後日回答）
324	〃	電話	F M放送局	左義長について	口頭で回答
325	1.12(金)	窓口	当町都市整備課	石造物の移設について	口頭で回答
326	〃	窓口	個人（伊勢原市）	丸型郵便ポストについて	口頭で回答
327	〃	窓口	個人（平塚市）	①城山横穴墓群について ②高麗山の解説内容について ③名主について	①②③口頭で回答
328	〃	電話	新聞社	左義長について	口頭で回答
329	1.14(日)	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
330	〃	電話	新聞社	左義長について	口頭で回答
331	〃	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
332	〃	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
333	1.16(火)	窓口	学術団体	如庵の移築について	口頭で回答
334	〃	窓口	個人（平塚市）	藤公碑について	口頭で回答
335	〃	電話	当町企画室	左義長のヤナゴッコについて	ファクシミリで資料提供
336	1.17(水)	ファクシミリ	新聞社	企画展示について	ファクシミリで回答
337	〃	電話	当町企画室	吉田茂の資料について	ファクシミリで資料提供
338	〃	ファクシミリ	雑誌編集社	企画展示について	ファクシミリで回答
339	〃	窓口	テレビ局	展示資料について	展示解説、特別利用（撮影）対応
340	〃	窓口	学術団体	写真資料について	口頭で回答
341	〃	電話	博物館	写真資料について	口頭で回答
342	1.18(木)	電話	当町企画室	吉田茂の資料について	口頭で回答
343	〃	電話	雑誌編集社	高麗の山神輿について	口頭で回答
344	〃	電話	雑誌編集社	白岩神社の祭礼について	口頭で回答
345	〃	電話	新聞社	左義長について	口頭で回答
346	1.23(火)	電話	雑誌編集社	展示資料について	eメールで資料提供
347	〃	電話	他町教育委員会	文化財について	口頭で回答
348	〃	電話	個人（一）	左義長について	口頭で回答
349	1.24(水)	電話	学習団体	企画展示について	口頭で回答
350	〃	電話	大学教員	所蔵資料について	口頭で回答
351	1.25(木)	電話	当町経済観光課	石造物について	口頭で回答
352	〃	電話	学術団体	仏像の写真について	調査継続（後日回答）
353	〃	電話	文学館	菊池重三郎の資料について	口頭で回答
354	〃	窓口	町内会役員	白岩神社の祭礼について	調査継続（後日回答）
355	1.26(金)	ファクシミリ	雑誌編集社	高麗山の山神輿について	ファクシミリで回答
356	〃	電話	映画製作会社	セートバライについて	ファクシミリで回答
357	〃	窓口	個人（平塚市）	雛人形について	口頭で回答
358	1.28(日)	電話	雑誌編集社	高麗の山神輿について	ファクシミリで回答
359	〃	電話	旅行会社	旧吉田茂邸について	口頭で回答
360	〃	窓口	個人（大磯町）	仏像の撮影について	口頭で回答
361	〃	窓口	個人（横浜市）	史跡めぐりのコースについて	口頭で回答
362	1.30(火)	電話	個人（二宮町）	二宮町古屋敷の横穴について	調査継続（後日現地へ出向）
363	1.31(水)	電話	個人（一）	①白岩神社について ②賽神社について	①②口頭で回答
364	2. 2(金)	電話	個人（一）	展示について	口頭で回答
365	〃	電話	町内寺院	文化財保護について	調査継続（後日回答）
366	2. 3(土)	窓口	個人（一）	ハイキングコースについて	口頭で回答
367	〃	窓口	雑誌編集社	海水浴について	展示解説、特別利用（撮影）対応
368	〃	窓口	個人（一）	ハイキングコースについて	資料提供
369	〃	窓口	個人（一）	高来神社の神像について	口頭で回答

370	2. 6(火)	電話	文化財専門委員	白岩神社の祭礼について	調査継続 (後日郵送で資料提供)
371	〃	電話	ボランティア団体	文化財について	口頭で回答
372	〃	窓口	当町経済観光課	展示について	資料提供
373	〃	電話	雑誌編集社	島崎藤村について	口頭で回答
374	〃	電話	テレビ番組制作会社	旧東海道の宿場について	口頭で回答
375	〃	窓口	ボランティア団体	史跡めぐりについて	口頭で回答
376	2. 7(水)	電話	個人 (一)	鳴立沢について	口頭で回答
377	〃	電話	雑誌編集社	島崎藤村の資料について	口頭で回答
378	〃	窓口	個人 (一)	文化財保護について	口頭で回答
379	〃	電話	当町経済観光課	①高麗の植木市について ②石造物について	①②口頭で回答
380	2. 8(木)	窓口	ボランティア団体	松本順について	口頭で回答
381	〃	窓口	祭礼保存団体	①白岩神社について ②古文書の積文について	①口頭で回答 ②調査継続 (後日回答)
382	〃	窓口	個人 (一)	①ハイキングコースについて ②公園の園路について	①②口頭で回答
383	2. 9(金)	電話	雑誌編集社	島崎藤村の資料について	調査継続 (後日回答)
384	〃	電話	他町教育委員会	展示設計について	口頭で回答
385	〃	窓口	博物館	収蔵資料について	資料の特別利用(撮影)対応
386	2.11(日)	電話	文化財専門委員	白岩神社の祭礼について	口頭で回答
387	〃	電話	個人(大磯町)	マイワイについて	口頭で回答
388	2.15(木)	電話	当町経済観光課	湘南平について	口頭で回答
389	2.16(金)	窓口	雑誌編集社	大磯在住の人物資料について	資料の特別利用(撮影)対応
390	〃	電話	個人(茅ヶ崎市)	大磯甚句について	口頭で回答
391	2.20(火)	電話	旅行会社	城山公園について	口頭で回答
392	〃	電話	個人 (一)	湘南アルプスと高麗山について	口頭で回答
393	2.21(水)	窓口	個人 (一)	歌の枕詞について	口頭で回答
394	〃	窓口	個人(大磯町)	キルトについて	調査継続
395	2.22(木)	電話	個人(横浜市)	城山荘について	口頭で回答
396	〃	電話	個人(大磯町)	旧清水別荘について	口頭で回答
397	〃	電話	県教育委員会	文化財について	調査継続 (後日郵送で資料提供)
398	〃	窓口	祭礼保存団体	白岩神社について	資料提供、調査継続(後日回答)
399	〃	窓口	個人(海老名市)	旧是長邸について	資料提供、調査継続(後日回答)
400	〃	電話	祭礼保存団体	白岩神社の資料について	口頭で回答
401	〃	電話	当町生涯学習課	左義長について	口頭で回答
402	2.23(金)	電話	個人(大磯町)	稲荷講の道具について	口頭で回答
403	2.27(火)	電話	個人 (一)	小田原の文化財について	他機関への照会
404	2.28(水)	窓口	個人 (一)	正岡子規について	口頭で回答
405	〃	電話	博物館	国府祭の指定範囲について	口頭で回答
406	〃	窓口	個人(横浜市)	左義長について	口頭で回答
407	〃	窓口	博物館	収蔵資料について	資料の館外貸出対応
408	3. 1(木)	窓口	F M放送局	町の紹介について	展示解説、特別利用(撮影)対応
409	〃	窓口	町内寺院	慶覚院の仁王像について	口頭で回答
410	〃	電話	文化財専門委員	白岩神社の祭礼につて	口頭で回答
411	3. 2(金)	窓口	祭礼保存団体	白岩神社の資料について	口頭で回答
412	〃	電話	博物館	収蔵資料について	口頭で回答
413	〃	窓口	個人(秦野市)	慶覚院の本尊について	口頭で回答
414	3. 6(火)	電話	個人(大磯町)	企画展示について	資料提供
415	〃	電話	県教育委員会	西小磯七夕行事の映像について	口頭で回答
416	〃	窓口	個人(平塚市)	鳴立庵の資料について	口頭で回答
417	3. 7(水)	電話	個人(鎌倉市)	高来神社の神像について	口頭で回答
418	〃	窓口	個人(大磯町)	白岩神社の祭礼について	口頭で回答
419	〃	電話	個人 (一)	企画展示について	口頭で回答
420	3. 9(金)	電話	個人 (一)	歌の枕詞について	口頭で回答
421	3.10(土)	窓口	個人 (一)	旧高麗寺について	資料提供
422	3.14(水)	電話	個人(東京都)	松本順の写真について	口頭で回答
423	〃	電話	当町観光協会	調査報告書について	調査継続
424	〃	電話	警察署	地名について	口頭で回答
425	〃	電話	当町企画室	滄浪閣について	調査継続
426	〃	窓口	個人(大磯町)	資料の所在について	口頭で回答
427	〃	電話	不動産会社	滄浪閣について	口頭で回答
428	〃	電話	個人(大磯町)	高橋是清について	口頭で回答

429	3.15(木)	窓口	個人(秦野市)	照ヶ崎の貝の同定について	口頭で回答
430	3.16(金)	窓口	個人(大磯町)	布と着物について	調査継続
431	3.17(土)	窓口	個人(浜松市)	相模国府について	口頭で回答
432	3.22(木)	電話	個人(大磯町)	大正時代の教科書について	現地へ出向
433	"	窓口	個人(大磯町)	資料の保存処理について	資料の特別利用対応
434	"	電話	映画製作会社	セートバライについて	調査継続(後日回答)
435	"	電話	当町町民課	滄浪閣について	口頭で回答
436	"	電話	不動産会社	滄浪閣について	口頭で回答
437	"	窓口	個人(大磯町)	文化財について	口頭で回答
438	"	電話	個人(大磯町)	布と着物について	現地へ出向
439	"	電話	文化財修復会社	まわり地蔵の錫杖について	口頭で回答
440	3.23(金)	電話	町内区長	まわり地蔵について	調査継続(後日現地へ出向)
441	"	窓口	文化財修復会社	①旧吉田茂邸について ②滄浪閣について	①②調査継続(後日回答)
442	"	電話	個人(二宮町)	企画展示について	口頭で回答
443	"	窓口	大学病院	展示の見学について	口頭で回答
444	3.27(火)	窓口	個人(一)	鳴立庵主について	口頭で回答
445	3.29(木)	窓口	当町まちづくり課	指定・登録文化財について	資料提供
446	"	窓口	個人(藤沢市)	耕余塾について	口頭で回答
447	"	窓口	個人(一)	①旧鎌倉街道について ②旧東海道について	①②口頭で回答
448	"	窓口	個人(大磯町)	大磯町全般について	口頭で回答
449	3.30(金)	電話	個人(一)	川合玉堂について	調査継続(後日回答)
450	"	窓口	個人(一)	大磯町の漁業について	資料提供